

シラバス 名古屋文化短期大学 NFCC 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	茶道実習 I		
講義コード	K102		
開講責任部署	総合美学コース		
講義開講時期	通年	講義区分	講義・実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	3時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17K	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	神谷 昇司		
意義と目的			
日本の伝統文化“茶道”は日本人の心の豊かさや、やわらぎを得る茶の湯を学び、文化と歴史、茶道具、茶室と露地等、日本の生活文化茶道の意義を体得し、実習を通して自己を修練して思いやりのある心を養う。			
到達目標			
裏千家許状初級、薄茶の点前を修得する。			
方法			
毎回の基礎（ことば、四規七則、利休道家）読み合わせ道、学、実を実習により学ぶ。			
評価方法			
授業態度（50%）、レポート課題（20%）、小テスト（20%）、10分間基礎（10%）			
留意事項			
身だしなみ、服装、茶道具の確認、受講姿勢を整える、道具の取り合わせの準備			
教科書			
書名1 裏千家茶道 著書名 千 宗室 出版社 裏千家茶道教育センター 書名2 裏千家茶道教科 2, 3 著書名 千 宗室 出版社 淡交社			
参考文献			
茶道文化検定テキスト 4級 3級			
授業計画表			
回	テーマ	自習	
第1回	裏千家 茶道について ことば、四規七則、利休道家、礼の種類、茶菓子、飲み方	ことばの復習	
第2回	ことば、四規七則、利休道家 割稽古（1）、帛紗、茶杓	ことばの復習 客の心得	
第3回	ことば、四規七則、利休道家 割稽古（2）、茶先通し、茶巾、茶碗、小テスト	道具の名称を覚える	
第4回	略益点（1）、客の心得	"	
第5回	略益点（2）、客の心得	和菓子について	
第6回	略益点（3）、客の心得	略益点イメージトレーニング	
第7回	略益点（4）、客の心得、小テスト	略益点イメージトレーニング 茶碗について	
第8回	風炉について 水指、柄杓の扱い	略益点イメージトレーニング 茶室の歩き方	
第9回	風炉、薄茶点前（1）	略益点イメージトレーニング 茶室について	
第10回	風炉、薄茶点前（2）	床の間について	
第11回	裏千家許状について 風炉、薄茶点前（3）	薄茶のイメージトレーニング 掛軸について	
第12回	" "（拝見）（4）	薄茶のイメージトレーニング 花入れについて	
第13回	" "（拝見）（5） 小テスト	薄茶のイメージトレーニング 茶会亭主の役割	
第14回	まとめ学習 亭主、客、水屋の役割	薄茶のイメージトレーニング 茶会客の心得	
第15回	まとめ学習 茶会形式、利休かるた、レポート	裏千家の歴史	
第16回	風炉 薄茶点前	ことば、七則、道歌の暗唱 手前のイメージトレーニング	
第17回	" " 拝見（1）	席入りの仕方	
第18回	" " 拝見（2） 小テスト	茶道具の見方	
第19回	炉について 位置、歩き方、手順	漆器の扱い	
第20回	炉 薄茶点前 はこび（1）	茶と健康	
第21回	炉 薄茶点前 はこび（2）	茶の伝来と発展	
第22回	炉 薄茶点前 はこび（3）	茶道の成立	
第23回	炉 薄茶点前 はこび（4）	茶の先人達	
第24回	炉 薄茶点前 はこび（5） 拝見、割稽古、小テスト	茶と禅	
第25回	" 拝見（1）	茶間の間取り	
第26回	" 拝見（2）	茶室の床の間、天井	
第27回	" 拝見（3）	茶室の窓、出入口	
第28回	" 拝見（4）	茶室の水屋について	
第29回	まとめ学習 亭主、客、水屋	茶花について	
第30回	まとめ学習 茶会、利休かるた、レポート	千家十職	

講義名	レクリエーション実技		
講義コード	K104		
開講責任部署	総合美学コース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	5時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17K	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島 博人		

授業計画表		
回	テーマ	自習
第1回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第2回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第3回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第4回	手軽にできるコミュニケーション・ワークの実践方法を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第5回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第6回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第7回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第8回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第9回	各自の置かれている環境を鑑み、目的に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第10回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第11回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第12回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第13回	レクリエーションを実施する対象者の個性等を鑑み、各々に合わせたレクリエーション・ワークの仕方を学ぶ	振り返り感じたことをまとめる
第14回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第15回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第16回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第17回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第18回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第19回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第20回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第21回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第22回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第23回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるニューススポーツの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第24回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるクラフトの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第25回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるクラフトの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第26回	各自の置かれている環境を鑑み、手軽にできるクラフトの指導方法を体験する	振り返り感じたことをまとめる
第27回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる
第28回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる
第29回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる
第30回	各自の置かれている環境を鑑み、自分に合ったレクリエーション支援の方法を模索する	振り返り感じたことをまとめる

意義と目的

レクリエーション活動の効果的支援に必要な、コミュニケーション・ワークやレクリエーションスポーツなどの実践方法を学ぶことは、生活文化の向上につながる。

到達目標

家庭や地域、学校や職場などでレクリエーション支援を行うことができる。ホスピタリティあふれるレクリエーション活動を行うことができる。

方法

レクリエーション材に積極的な態度で接する。レクリエーション材の楽しさをみんなで共有する姿勢を身につける。

評価方法

授業態度 (60%) 実技試験 (20%) 作品づくり (10%) レポート課題 (10%)

留意事項

心からレクリエーションを楽しむためには、豊かな創造力が必要である。またホスピタリティが要求される場面が多いので、いつも相手の気持ちになって行動してほしい。

教科書

参考文献

レクリエーション支援の基礎 (公益財団法人日本レクリエーション協会)

シラバス 名古屋文化短期大学 NFCC 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	キャリアデザイン		
講義コード	K107		
開講責任部署	総合美学コース		
講義開講時期	通年	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	3時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17K	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	堀井 厚		

授業計画表		
回	テーマ	自習
第1回	キャリアデザインとは 授業の進め方 進路選択の手順	SPI 課題処理
第2回	アセスメントツールによる自己分析 — 一般職業適性検査	SPI 予習 SPI 課題処理
第3回	自己分析 自己の振り返り 観察	SPI 予習 SPI 課題処理
第4回	求める人物像（社会・企業） 社会人基礎力 個性との適合	SPI 予習 SPI 課題処理
第5回	雇用形態 景気動向 人口問題（日本の少子高齢化）	SPI 予習 SPI 課題処理
第6回	心理学と社会 法学と社会 経済学と社会	SPI 予習 SPI 課題処理
第7回	業種・業界研究 キャリアインサイト	SPI 予習 SPI 課題処理
第8回	ビジネスマナー	SPI 予習 SPI 課題処理
第9回	言葉遣い	SPI 予習 SPI 課題処理
第10回	会社の仕組み 給与・年収・生涯収入・生涯支出	SPI 予習 SPI 課題処理
第11回	社会保険の基礎知識	SPI 予習 SPI 課題処理
第12回	マーケティング 損益計算	SPI 予習 SPI 課題処理
第13回	志望動機 自己PR	SPI 予習 SPI 課題処理
第14回	履歴書 エントリーシート	SPI 予習 SPI 課題処理
第15回	前期の総括	SPI 予習 SPI 課題処理
第16回	就職試験の仕組み 就職試験の動向と対策（総論）	SPI 予習 SPI 課題処理
第17回	思考テスト・IQテスト対策	SPI 予習 SPI 課題処理
第18回	性格適性検査対策 SPI・CAB・GAB・YGテスト・クレベリン・・・	SPI 予習 SPI 課題処理
第19回	SPI 性格適性試験模擬試験	SPI 予習 SPI 課題処理
第20回	内定者講演会	SPI 予習 SPI 課題処理
第21回	論作文対策	SPI 予習 SPI 課題処理
第22回	敬称 手紙・電子メール・電話のマナー	SPI 予習 SPI 課題処理
第23回	求人票の見方 給与の手取り額の計算	SPI 予習 SPI 課題処理
第24回	リクルート活動の身だしなみ 就職活動メイクアップ講座	SPI 予習 SPI 課題処理
第25回	面接対策	SPI 予習 SPI 課題処理
第26回	学内企業展	SPI 予習 SPI 課題処理
第27回	SPI 模擬試験（言語問題）	SPI 予習 SPI 課題処理
第28回	SPI 模擬試験（非言語問題）	SPI 予習 SPI 課題処理
第29回	CAB 模擬試験	SPI 予習 SPI 課題処理
第30回	後期総括	SPI 予習 SPI 課題処理

意義と目的

自己分析・社会研究を行い、自身の価値観を確立して卒業後の生き方や働き方をプランニングし、有意義な大学生活を送ることを目的とします。併せて就職試験対策を行ないます。

到達目標

2018年1月迄に「卒業後に希望する進路」を決定し、就職試験に臨む準備が整っていること及び本授業で設定した標準レベル就職能力テストに合格することを目標とします。

方法

オリジナルのテキストに準拠して授業を進行します。毎回予習すべき箇所の解説を行い、小テストでその成果を確認します。理解できるまでテストを繰り返します。

評価方法

前後期期末試験 50%
SPI対策小テスト 30%
課題提出物 10%
授業態度 10%

留意事項

できなかった事をとがめるつもりはありませんが、やらなかった事についてはペナルティを課し、評価に反映させます。地道な毎日の積み重ねが大切です。

教科書

NFCC キャリアデザイン&就職活動2019

参考文献

講義名				マリンスポーツ		
講義コード				K306		
開講責任部署				総合美学コース		
講義開講時期		前期	講義区分	実習		
基準単位数		1.00	時間	45.00		
代表時限			代表曜日			
学年・クラス		17K	自習時間	0		
選択必修区分		選択				
代表担当教員		大島 博人				
授業計画表						
回	テーマ		自習			
第1回	スキューバダイビングというレクリエーションの基本的マナーや遊び方のルールを学ぶ		耳抜きを復讐する			
第2回	プール実習でスノーケルやフィンの使い方に慣れる		耳抜きを復讐する			
第3回	プール実習でスノーケルやフィンの使い方に慣れる		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第4回	プール実習でBCDの構造とその使い方に慣れる		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第5回	プール実習でBCDの構造とその使い方に慣れる		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第6回	プール実習でBCDの構造とその使い方に慣れる		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第7回	プール実習でBCDの構造とその使い方に慣れる		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第8回	プール実習でBCDの構造とその使い方に慣れる		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第9回	プール実習で安全確保の方法と緊急時の対処法を実際にシミュレーションする		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第10回	プール実習で安全確保の方法と緊急時の対処法を実際にシミュレーションする		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第11回	プール実習で安全確保の方法と緊急時の対処法を実際にシミュレーションする		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第12回	プール実習で安全確保の方法と緊急時の対処法を実際にシミュレーションする		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第13回	プール実習で安全確保の方法と緊急時の対処法を実際にシミュレーションする		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第14回	プール実習で安全確保の方法と緊急時の対処法を実際にシミュレーションする		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第15回	海洋実習でプール実習で学んだスキルを実際に行う		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第16回	海洋実習でプール実習で学んだスキルを実際に行う		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第17回	海洋実習でプール実習で学んだスキルを実際に行う		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第18回	海洋実習でプール実習で学んだスキルを実際に行う		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第19回	海洋実習でプール実習で学んだスキルを実際に行う		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第20回	海洋実習でプール実習で学んだスキルを実際に行う		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第21回	海洋実習でプール実習で学んだスキルを実際に行う		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第22回	安全を確保してレクリエーションライブを楽しむ		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
第23回	安全を確保してレクリエーションライブを楽しむ		体調管理をしっかり行い、心身の調子を整える			
意義と目的						
レクリエーション・ダイビングを楽しむことは、心身の健康維持と豊かなライフスタイルにつながる。そのライセンス取得をめざすプログラムを実施することは、これからの人生において意義深い。						
到達目標						
レクリエーション・ダイビングとして、安全を最優先に考え、大自然と触れ合うことができる。自由に海中散歩を楽しむことができる。どのスキルも安全確保に必要なレベルに到達する。						
方法						
水中という日常生活とは異なる環境で遊ぶスキューバダイビングである。そのために必要な器材の仕組み、扱い方、緊急時の対処法などP A Dのプログラムに基づき学ぶ。						
評価方法						
授業態度 80% レポート課題 20%						
留意事項						
全てのプログラムを積極的な態度で参加することが求められる。終了すると全世界で通用する「P A D・オープンウォーターダイバー」のライセンス取得ができる。						
教科書						
PADI オープン・ウォーター・ダイバー・マニュアル						
参考文献						

シラバス 名古屋文化短期大学 N F C C 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名 芸術文化演習		授業計画表	
講義コード K354		回	テーマ
開講責任部署 総合美学コース			自習
講義開講時期 後期	講義区分 演習		
基準単位数 1.00	時間 30.00		
代表時限	代表曜日		
学年・クラス 17K	自習時間 15		
選択必修区分 コース必修			
代表担当教員 福谷 貴美子			
意義と目的			
<p>芸術・文化について視野を広げ、物事の価値や創造性の開発をする。多様な芸出鑑賞をする中で、自分の好きな分野を見つけ出し、その探求もする。</p>			
到達目標			
<p>日本の芸術・文化を歴史から理解できる。国際社会の中で、日本の文化を伝えられるスキルをつける。。</p>			
方法			
<p>美術館研修・演劇研修など学外の研修及び、学内での芸術研究を通して、実際に見て、触れて、調べるなど繰り返しながら、アクティブに学んでいく。</p>			
評価方法			
<p>レポート課題80% 授業態度20%</p>			
留意事項			
<p>学内外での芸術研修に参加都度の開講のため、授業計画は不確定。</p>			
教科書			
参考文献			

講義名	和装美学		
講義コード	K603		
開講責任部署	総合美学コース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	1時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16K	自習時間	30
選択必修区分	コア必修（生活実用コアのみ）		
代表担当教員	古川 幸子		

意義と目的

山野流美道「髪・顔・装い・精神美・健康美」を基本に着つけ技術、知識を学ぶ。
日本の文化を代表するきものの歴史、約束事などを学び、自装・他装の技術を習得する。

到達目標

①ゆかた・小紋の自装、留袖・振袖の他装技術ができる。
②ミスの礼装・盛装である振袖着付け・帯結びの実技試験（査定）を目指す。
③山野流着装教室 初・中伝許状を取得できる。

方法

各回テーマの講義・技術展示説明後、自装・他装の実技実習を行う。
毎回、個々の技術確認をし、理解できるように進める。

評価方法

振袖着付け技術（40%）、帯結び技術（40%）、受講態度（20%）

留意事項

①日本の民族衣裳、日本の文化を代表する着物に関心をもってほしい。
②ひとつひとつ理解できるように予習と復習を必ずしてほしい。
③最後まで投げ出さず、あきらめず、到達目標に向かって前進してほしい。

教科書

書名1 着物着付け教本 著書名 山野愛子ジェーン 出版社 一般財団法人 国際美容協会 書名2 著書名 出版社

参考文献

回	テーマ	自習
第1回	ゆかたの歴史・ゆかたの種類 教材、小物類の説明と確認 体型別補正の作り方	<関連> ゆかたの歴史・ゆかたの種類について復習
第2回	ゆかたの歴史・体型別補正の作り方 着物を着たときの挨拶の仕方 座礼・立礼	<関連> 体型別補正について理解し、補正を作成
第3回	ゆかたの着つけと細帯の結び方 自分で着て知る着つけの心 下着の用い方、腰紐のしめ方	<関連> ゆかたの部分名称を理解し、着物のたたみ方、本たたみを復習
第4回	ゆかたの着つけと細帯の結び方 ゆかたの部分名称と細帯の知識 帯結び・一文字結び ゆかたのたたみ方	<関連> 細帯の一文字結びを覚えてパリエーションを楽しむ
第5回	細帯の帯結び・長襦袢に愛好半袴をつける 帯結び 一文字結び・男結び・文庫結び 細帯のたたみ方	<関連> 細帯の一文字結びを覚えてパリエーションを楽しむ
第6回	細帯の帯結び・長襦袢に愛好半袴をつける 長襦袢のたたみ方	<関連> 半袴のつけ方を理解し、長襦袢のたたみ方を復習
第7回	小紋の着つけと名古屋帯の知識 小紋の着物について 足袋のはき方、下着の用い方	<事前> 小紋の着物・名古屋帯の知識について予習
第8回	小紋の着つけと名古屋帯の知識 長襦袢、小紋の着つけポイント確認 着物のたたみ方（本たたみ）	<関連> 小紋を着るプロセスを理解し覚える
第9回	小紋の着つけと帯結び 名古屋帯一重太鼓 全通柄で結ぶ 帯揚げの整え方（平織り）	<関連> 一重太鼓を結び手順を覚え復習
第10回	小紋の着つけと帯結び 名古屋帯一重太鼓 全通柄で結ぶ 着物のたたみ方、名古屋帯のたたみ方	<関連> 小紋の着つけと名古屋帯 一重太鼓 確認ポイントをプリントに書き込む
第11回	小紋の着つけと帯結び 名古屋帯一重太鼓 お太鼓柄の結び方 帯揚げの整え方（平織り）	<関連> 帯揚げの整え方、帯締めを復習
第12回	小紋の着つけと帯結び 名古屋帯一重太鼓 お太鼓柄の結び方 着つけと帯結びポイント確認	<関連> 小紋の着つけと一重太鼓の結び方について復習
第13回	留袖の着つけとお客様への着つけの心構え ミセスの第一礼装 留袖について 比よく袴のしめ方、袋帯の知識	<事前> 留袖、家紋について調べる
第14回	留袖の着つけとお客様への着つけの心構え 技術者としての心得 長襦袢の着つけと留袖の着つけ	<関連> お客様への着つけの心構え、技術者としての心構えを理解する
第15回	留袖の着つけと帯結び 袋帯二重太鼓（六通柄） 補正・長襦袢・留袖着つけ・帯結び 袋帯のたたみ方	<関連> 他装時の腰紐の締め方、着つけ手順を理解する
第16回	留袖の着つけと帯結び 袋帯二重太鼓（六通柄） 補正・長襦袢・留袖着つけ・帯結び・ポイント	<関連> 留袖の約束事について復習
第17回	留袖の着つけと帯結び 袋帯二重太鼓（全通柄） 帯揚げの整え方（絞）	<関連> 留袖着つけと袋帯 二重太鼓 確認ポイントをプリントに書き込む
第18回	留袖の着つけと帯結び 袋帯二重太鼓（全通柄） 帯締めの整え方（平組）	<関連> 帯結び二重太鼓の復習
第19回	留袖の着つけと帯結び 袋帯二重太鼓（全通柄） 留袖着つけ総仕上げ 着物を着たときのマナー	<関連> 帯結び二重太鼓の復習
第20回	留袖の着つけと帯結び 袋帯二重太鼓（全通柄） 留袖着つけ総仕上げ 厚紙、帯板作成（振袖帯結び用）	<関連> 振袖帯結び用の帯板作成
第21回	振袖の着つけと伊達袴の知識 ミスの第一礼装 振袖について 伊達袴の用い方	<関連> 振袖について、伊達袴の知識についての予習
第22回	振袖の着つけと伊達袴の知識 補正・長襦袢、振袖の着つけポイント確認 着物を着たときのマナー	<関連> 振袖の着つけポイントを確認し復習
第23回	振袖の着つけと帯結び 二枚扇 二枚扇の結び方 お太鼓柄の基本 帯のゴールデン・ポイント・システムについて	<関連> 二枚扇のプロセス・二枚扇のひだの取り方 （三枚の裏ひだ・きんちゃくひだ）復習
第24回	振袖の着つけと帯結び 二枚扇 ひだの取り方 三枚の裏ひだ・きんちゃくひだ 帯揚げの形づけ方、帯締めの整え方	<関連> 二枚扇のひだの取り方、三枚の裏ひだ、きんちゃくひだの復習
第25回	振袖の着つけと帯結び 二枚扇 帯結びを美しく決める 帯のゴールデン・ポイント・システムについて	<関連> 帯のゴールデン・ポイント・システムを理解する
第26回	振袖の着つけと帯結び 二枚扇 ミスの礼装と着つけポイント確認 着物を着たときのマナー	<関連> 振袖の着つけ、帯結び二枚扇のポイント復習
第27回	振袖着つけ 総仕上げのための特訓・時間をはかる 着物・帯・小物類準備（5分） 補正から振袖止めまで（5分）	<関連> 準備から振袖着つけと帯結びが時間内でできるようにする
第28回	振袖着つけ 総仕上げのための特訓・時間をはかる 着物・帯・小物類準備（5分） 補正から振袖止めまで（5分）	<関連> 準備から振袖着つけと帯結びが時間内でできるようにする
第29回	振袖着つけ 総仕上げのための特訓・時間をはかる 着物・帯・小物類準備（5分） 補正から振袖止めまで（5分）	<関連> 時間内に振袖着つけと帯結びがきれいに仕上がるようにする
第30回	振袖着つけ 総仕上げのための特訓・時間をはかる 着物・帯・小物類準備（5分） 補正から振袖止めまで（5分）	<関連> 時間内に振袖着つけと帯結びがきれいに仕上がるようにする

シラバス 名古屋文化短期大学 NFCC 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	メイクアップ実習Ⅱ		
講義コード	K608		
開講責任部署	総合美学コース		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	3時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	10K・モジュール	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	高坂 美和子		

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	基礎のメイク（ファンデーション・眉）	事前 基本的なメイク法を調べる
第2回	基礎のメイク（アイメイク）	事前 基本的なメイク法を調べる
第3回	基礎のメイク（チーク・リップ）	事前 基本的なメイク法を調べる
第4回	基礎のメイク（トータル）	事前 基本的なメイク法を調べる
第5回	肌のウィークポイントの修正法	事後 自分の肌を知り対処法をまとめる
第6回	個々の顔に合わせたメイク法	事後 自分のウィークポイントの修正法をまとめる
第7回	個々の顔に合わせたメイク法	事後 自分のウィークポイントの修正法をまとめる
第8回	綺麗な顔立ちの方程式	事後 修正法をふまえて美しい顔立ちを作る
第9回	綺麗な顔立ちの方程式	事後 修正法をふまえて美しい顔立ちを作る
第10回	トータルメイク 小テスト	事前 ナチュラルなメイクを復習しておく
第11回	形・色・質感によるメイクの表現法	事後 色の与えるイメージをまとめる
第12回	形・色・質感によるメイクの表現法	事後 形の与えるイメージをまとめる
第13回	形・色・質感によるメイクの表現法	事後 質感の与えるイメージをまとめる
第14回	形・色・質感によるメイクの表現法	事後 トータルで考えて（色形・質感）イメージをまとめる
第15回	イメージに合わせたメイク	事後 かわいいイメージの顔立ちを作る
第16回	イメージに合わせたメイク	事後 女らしいイメージの顔立ちを作る
第17回	イメージに合わせたメイク	事後 シャープなイメージの顔立ちを作る
第18回	イメージに合わせたメイク	事後 自分がイメージする顔立ちを作る
第19回	ヘアとメイクの関連性について	関連 ヘアアイロンの使い方をマスターする
第20回	ヘアとメイクの関連性について	関連 色々なアレンジ方法を調べる
第21回	TPOに合わせたイメージをファッション・ヘア・メイクで表現	関連 様々なTPOに応じたファッションを考える
第22回	TPOに合わせたイメージをファッション・ヘア・メイクで表現	関連 様々なTPOに応じたファッションを考える
第23回	雑誌のイメージを作る	事前 雑誌でイメージ別のメイクを収集
第24回	雑誌のイメージを作る	事前 雑誌でイメージ別のメイクを収集
第25回	トレンドメイク	事前 現在・先のトレンドを調べる
第26回	年代別ヘアメイクの歴史	事前 メイクの流行・移り変りを考える
第27回	ヘアメイクを相モデルで実践	関連 メイクの職業には何があるか調べる
第28回	ヘアメイクを相モデルで実践	関連 対人物のヘアメイクを実践してみる
第29回	作品	事前 作品のイメージ作り
第30回	作品	事前 作品のイメージ作り

意義と目的

基本的なメイク法に基づきTPOに応じたヘアメイク、イメージを追求したヘアメイクを習得する。

到達目標

①基本的なメイク法を習得 ②個々の顔に合わせたメイクの習得
③イメージを作るメイク法を習得

方法

プリント資料を用いて知識を高める。個々の手順をチェックし、指導する。

評価方法

授業態度 40% 資料・ノート提出 20% 作品 30%
小テスト10%

留意事項

実習の授業ですが授業で学んだことは記録し、多くの表現法を調べる自習時間を持つように。

教科書

書名1 著書名 出版社 書名2 著書名 出版社

参考文献

シラバス 名古屋文化短期大学 NFCC 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	セルフスタイリング		
講義コード	K651		
開講責任部署	総合美学コース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	2時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16K	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根 裕子		

意義と目的

日本及び海外のファッショントレンドをデザイン、色彩、素材などのコンテンツで分析し、自分らしくワードローブにコーディネートすることによって、服飾による自己表現力を高める。

到達目標

自分らしいスタイルを追求し、TPOを踏まえた服飾コーディネートができる。

方法

視聴覚教材を活用することにより最新のファッショントレンドを学習する。自分の目指す職業やTPOを設定し当該年の流行を取り入れたコーディネートをカラーージュにより表現する。

評価方法

- 期末試験 60%
- 小レポート 20%
- 授業態度 20%

留意事項

授業で学習したプリントや資料は最後にノートとして提出してもらいますので、必ずファイリングをしてください。
 <授業に準備する物>
 199a配色カード（日本色研事業株式会社）、A4ファイル（ノート式）

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	授業内容とスケジュールの説明	【事後】授業に必要なものを準備する。
第2回	2017～18年秋冬ファッショントレンドとテーマ	【関連】ファッショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第3回	2017～18年秋冬ファッショントレンドとテーマ	【関連】ファッショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第4回	2017～18年秋冬ファッショントレンドとテーマ	【関連】ファッショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第5回	2017～18年秋冬ファッショントレンドとテーマ	【関連】ファッショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第6回	美的生活とデザイン「配色の種類」	【事前】配色の種類についてその特徴を調べる。
第7回	美的生活とデザイン「配色の種類と応用」	【事前】配色の種類についてその特徴を調べる。
第8回	美的生活とデザインーTPOとコーディネートⅠー	【関連】社会人として生活する場合のTPOを想定し、ワードローブからコーディネートを考える。
第9回	美的生活とデザインーTPOとコーディネートⅡー	【関連】社会人として生活する場合のTPOを想定し、ワードローブからコーディネートを考える。
第10回	美的生活とデザインーTPOとコーディネートⅢー	【関連】社会人として生活する場合のTPOを想定し、ワードローブからコーディネートを考える。
第11回	美的生活とデザインーTPOとコーディネートⅣー	【関連】社会人として生活する場合のTPOを想定し、ワードローブからコーディネートを考える。
第12回	ワードローブコーディネートの実践	【関連】ファッショントレンドの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第13回	ワードローブコーディネートの実践	【関連】ファッショントレンドの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第14回	プレゼンテーション	【事前】作製したワードローブコーディネートについて発表練習をする。
第15回	まとめと総評	学習した内容を確認し、ファイリングを完成する。

